

令和8年度 入学試験
特別支援教育特別専攻科 特別支援教育専攻

小論文

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題・解答用紙の中を見てはいけません。
2. 解答はすべて解答用紙に記入ください。
3. 問題用紙は1枚、解答用紙は1枚です。
4. 問題用紙、解答用紙には受験番号を記入する欄がそれぞれ1箇所あります。すべて記入ください。
5. 試験終了後、問題用紙、解答用紙はすべて回収します。

受験番号

小論文

問題

障害や発達に課題のある子どもやその家族(家庭)への支援にあたっては、教育と福祉の連携が求められています。これまでも、様々な施策や事業において、教育と福祉が連携して家族(家庭)を支援することに取り組んできましたが、地域(地方自治体等)によって体制整備の状況に差異があったり、国の事業が十分に活用されていなかったりする等の状況があります。

令和 5 年 4 月に子ども家庭庁が発足したことも踏まえて、子ども家庭庁、文部科学省及び厚生労働省合同で課題の共有・検討等を行う「障害や発達に課題のある子どもや家族への支援に関する家庭・教育・福祉の連携についての合同連絡会議」(以下「合同連絡会議」という。)を設置し、各省庁間の連携体制を構築することで、家庭・教育・福祉が連携した取組の一層の推進を図ることとなりました。

障害や発達に課題のある子どもの家族には、様々な困難があります。その困難について記述した上で、学校や教員として取り組むべきことや、学校外その他機関との連携について論述してください。あなたが、本専攻科修了後に就職を希望する学校・学級(小学校・中学校・高等学校の通常の学級、特別支援学校、あるいは、特別支援学級)を明記し、その立場から考えをまとめ、700 字以上 800 字以内で記述してください。

なお、解答は、別紙の小論文・解答用紙に記述してください。

